



合唱コンクールに想う

校長 山本平生

10月の初旬は、1、2年生の運動部の生徒が新人戦に出場して、暑い夏の練習の成果を十分に発揮してきました。来年度につながるよい経験ができました。今後の更なる成長に期待します。

新人戦が終わると同時に、校舎内には生徒の歌声があちこちから聞こえてきました。合唱コンクールに向けた練習が本格的にスタートしていました。最初のうちはどこかぎこちない響きでしたが、日を追うごとに歌声が洗練され、ハーモニーが美しくなってくるのがわかりました。

10月21日には、「段十ろう」にて合唱コンクールが開催され、全校生徒が各学級学年で心を一つに美しい歌声を響かせました。運動に、勉強にがんばる姿もさることながら、精一杯の歌声を響かせる十中生の姿も、見ていてとても誇らしくなります。10月30日には、3年生が十日町中学校の代表として、郡市音楽交歓会に出演し、他校の生徒と日頃の合唱練習の成果を発表し合って交流を深めました。ここでも、十中生のよさが遺憾無く発揮され、素晴らしい合唱を披露することができました。

先日、某中学校の創立記念式典に招かれ、参列してきました。創立記念事業の一つとして、式典に引き続き、合唱コンクールが公開されました。数日の間に十中の合唱コンクールとこの中学校の合唱コンクール、二校の合唱コンクールを聴かせてもらったことになります。

同じ中学生の合唱です。曲目もいくつか重なりがあり、興味津々で聴くことができました。二つの学校の合唱コンクールを聴く中で気づいたことが二つ。

1 声が溶け合うことが大切……ハーモニーの本質

合唱ですから、大方の曲はソプラノ、アルトとテノールの三部合唱です。それぞれがそれぞれのパートの音を一生懸命歌います。あたかも、白い絵の具と、赤い絵の具と、青い絵の具をパレットに出して、混ぜ合わせていくような印象です。最初はきっと、それぞれの色を主張し合って、どろどろとしたなんとも形容し難いものだったと思われます。やがて、それが溶け合って1つの美しい色になっていく。歌声のハーモニーもそれに似ていると感じた次第です。

2 ピアノに歌わせてもらおう……仲間とつくる音楽

中学校の合唱コンクールには、歌い手の他に指揮者と伴奏者がいます。指揮者はもちろん合唱全体を指揮して、みんなを目指す方向へと導いていく大役です。そして、伴奏者はピアノを奏で、その繊細な音で合唱を導いていきます。歌を歌う者は、このピアノの音を聞きながら歌うことで、正しい音や豊かな表現を現実のものにしていくのです。

伴奏を担った人たちが、他の人には見せない並々ならぬ練習を重ねていたことは想像に難くありません。1曲の伴奏を仕上げるためにどれくらいの時間が必要であったかは、実際にピアノに向き合った人でなければわからないものでしょう。私たちは、もっともっとピアノの伴奏者に敬意を払うべきです。合唱は、ピアノに歌わせてもらっている側面がとても大きいからです。

二つの気づきに共通するのは、「他の音を聴く」ということです。各パートの音が溶け合うためにも、合唱が一体感をもって響きを生み出すにも、一人一人が自分の音を大切にすると同時に、他の音（＝仲間の歌声、ピアノの音）をどれだけ大事に聴きながら歌うかが大切だということです。

他の音を聴きながら歌い、声が溶け合い、ピアノ伴奏と一体となる合唱。これに僅かに秀でた学級が、上位の賞を受賞していたように思います。

自分を大事にしつつ、仲間を感じながら取り組むことが、合唱という美しいものをつくりだす上でもとても大切なのだと、改めて感じた二校の合唱コンクールでした。

合唱コンクール、大成功！

21日（火）、合唱コンクールスローガン「響奏 ～心躍る音楽を～」のもと、令和7年度十日町中学校合唱コンクールを、「段十ろう」を会場に開催しました。

どの学級も、約2週間、昼休みや放課後の練習に取り組んできた成果を十分に発揮し、素晴らしい合唱を披露してくれました。学年合唱でも、それぞれの学年のカラーを出しながら、美しいハーモニーを奏でくれました。特に3年生は、ホール全体に圧巻の歌声を響かせてくれました。

全校生徒と会場の皆様で感動を共有しながら、音楽を楽しむ一時となりました。

ご来場いただいた皆様、大変ありがとうございました。



第2回避難訓練

10月23日は中越地震が発生した日です。十日町中学校では、この時期に合わせて毎年、地震を想定した避難訓練を実施しています。

今年度も、23日（木）に第2回避難訓練を実施しました。今回はどの時間で行うか予告なしで行いましたが、生徒は緊急地震速報が流れると、机の下に入って身の安全を確保し、その後、放送の指示で、頭を教科書等で保護しながら慌てることなく落ち着いて避難することができました。

災害はいつ、どこで起きるかわかりません。生徒には、今回のように真剣な態度で避難訓練に取り組むことで、避難行動をしっかりと身に付けてほしいと思います。



ネットトラブル防止教室

28日（火）、PTA 教養委員会主催の「親子講演会」を開催しました。

講師に長岡少年サポートセンターの大平様をお迎えし、「ネットトラブル防止」について学習しました。大平様から、自撮被害やネットいじめ、悪ふざけの写真・動画の投稿、闇バイトなど、様々なネットトラブルについて、具体的な事例を交えながらその危険性を説明していただきました。そして、ネットの特性である公開性、公共性、記録性、信憑性、流出性を踏まえて安全に使用することが大事であるとお話いただきました。最後に、インターネット上に個人情報をおせないことや、インターネット上で知り合った人とは絶対に会わないことなど、ネット使用の注意点について簡単なクイズで確認しました。



今、私たちの生活にインターネットやSNSは欠かせないものになっています。しかし、利用の仕方を間違えると、犯罪の被害者にも加害者にもなる危険性があります。だからこそ、生徒には、使い方には十分注意を払い、正しい判断力をもって利用してほしいと思います。

活躍する十中生

【駅伝部】

☆中越地区駅伝大会

女子の部 11位 県大会出場決定！
（2年女子・1年女子・1年女子・3年女子・2年女子）

男子の部 13位 県大会出場決定！
（3年男子6名）

県駅伝大会は、11月7日に新発田市五十公野公園で開催されます。

【卓球部】

☆第21回市民スポーツ大会

中学1年男子の部 1位 1年男子 2位 1年男子
中学2年男子の部 4位 1年男子 中学2年女子の部 3位 2年女子

☆中越地区新人卓球大会

1年男子個人 3位 1年男子 5位 1年男子

1年男子の二人は、11月30日に小千谷市総合体育館で開催される県新人卓球大会に出場します。

【県発明工夫展】

県工業技術総合研究所長賞 1年男子 県発明協会長賞 十日町中学校



マスクについてのお願い

これから感染症の流行期に入っていきます。学校では感染状況に応じて、生徒にマスク着用の指示を出すことがあります。そのため、生徒にはカバンやロッカーの中に、常時マスクを携帯するように話をしました。ご家庭でもお子さんへの声掛けをお願いします。

赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金について、校内では10月14日～24日まで行い、21日の合唱コンクールでは保護者の皆様にもご協力いただきました。総額9,207円集まりました。ご協力ありがとうございました。

